

大崎短歌会 兼題『盆・自由』

底紅のむくげ一輪清らなり
うちな沖縄戦没者慰靈の日なり

上南紀子

早期稻口毎に色づき

「収穫はお盆前」かと楽しみ眺む

穂園芳江

盆間近毎年龜の上り来る

愛し父かと懐かし語る

桺山重子

庭先に皆集まりし盆の宵

井元かず子

想い出深し線香花火

実吉安仁

二見の館今盛り也

山下海征

八重に咲きたる新盆の朝

ふたいろの百日草を愛で見れば
（唱）二見の館今盛り也

薩摩鄉句 兼題『チャンス』

新札と会チャンスが無か キヤツシユレス
（唱）渋沢さんも がつくり来ちよつ

二見愚楽満

産まれ毛もまだ乾かぬに乳房を
弄り含む飽くなき仔牛

本後淑子

盆あ日の日原爆投下きのこ雲
あの大惨事はまなうらにあり

川崎健一

夏風の微かに蒸るる便りにて
盆踊りせむ白きてふてふ

馬場みさ

盆踊りせむ白きてふてふ

遠矢酌多

一点差 チヤンスい弱か 息子い回つ

上村牛歩

チヤンス言た セールス電話うえ また嵌つ
（唱）応援の両親 心配でたまらじ

馬場みさ

父な留守 チヤンスち親子 回い寿司

西ノ園ひらり

父な留守 チヤンスち親子 回い寿司

諸木小春

父な留守 チヤンスち親子 回い寿司

西ノ園ひらり

父な留守 チヤンスち親子 回い寿司

諸木小春

父な留守 チヤンスち親子 回い寿司

西ノ園ひらり

くま

